

各支部の紹介

人生を豊かに～文化活動の活性化に向けて！ マキノ支部

支部長 白石 剛

高齢化という言葉は既に過去形で、現在では「超」が付け加えられるような時代背景の中、一人の人間として生涯学習の重要性を見直すことが問われています。

マキノ支部では、クラブ員の減少や高齢化が続いていますが、人生100年時代の到来を見据えて、益々元気で自己の充実・啓発や生活向上のために、私たち一人ひとりの手で支部活動を継続・活性化することが求められています。そのため、文化祭、体験教室や視察研修などの地域特性を活かした文化クラブ活動を通して、次代を担う子ども達や壮年層との交流機会を増やし、一人でも多くの方々と出会い、そして自らが豊かな人生を謳歌することが、地域全体を活性化する上で大きな力になるものと思っています。



R1.11.30 視察研修会 (佐川美術館)

支部研修会 ～新春落語 子ども文化教室 高島支部

支部長 早藤 甚五郎

会員の高齢化に伴い支部活動の活性化が課題となっていますが、高島支部では、春に公民館周辺の草取り、夏に映画会、秋は文化祭、冬には子ども文化教室と支部全体で取り組んでいます。そして、支部研修として1月に会員の親睦も兼ねて近江八幡市にて新春落語会を鑑賞しました。八幡掘りなど日牟礼神社周辺の散策もして楽しい1日を楽しんで過ごしました。やはり、組織の活性化には、人と人とのつながりが何より大切だとあらためて感じさせていただきました。今後も、支部の皆さんと一緒に活動できる場を増やしていきたいと思っています。



R2.1.5 研修会 (新春落語会)

1年を振り返って 安曇川支部

支部長 伊庭 盟代

昨年の安曇川文化祭では、安曇川支部とクラブ員が中心となって、一般参加の方々と共に展示発表、芸能発表を盛り上げました。また、安曇川支部のみなさんの日頃の成果を発表する気軽な舞台として、初心者でも気負いなく楽しめるようにと、2月末にミニ発表会を企画しておりましたが急遽中止しました。9月には、令和の年号にちなんで万葉集の歌碑を訪ねる大溝のまち歩き事業、年度末には、心身ともに安らかな看取りとはと題した講演会を予定しておりましたが、諸般の事情で中止となりました。今後も、支部の親睦と交流を図り会員同士の繋がりを深めながら、地域の方とも交流ができる機会を設け、文化協会の活動や魅力を知ってもらうことで、芸術文化に親しむ仲間を増やしていきたいと思っています。



R1.11.3 安曇川文化祭

秋の研修会 ～国宝十一面観音と曳山博物館 今津支部

支部長 藤原 勝

今津支部では、10月16日、渡岸寺と西明寺そして曳山博物館を見学する研修会を行いました。

渡岸寺では、国宝の十一面観音像をご住職に丁寧に説明いただきながら、頭部の十一面の表情まで前後左右からゆっくりと見学しました。そのお姿は美しく心が穏やかになる感じがしました。西明寺では、風情ある立派な庭園と十二神将を拝観しました。急な石段がありましたが、お互いに気遣いながら楽しく拝観できました。西明寺一休庵での手作り豆腐は口当たりがよくとても美味しく皆さんに好評でした。その後曳山博物館では、400年も続く長浜曳山まつりの展示などから今も伝わる町衆文化に触れることができました。今回の研修は、今後の文化活動の参考になると共に。会員同士の親睦を深める良い機会になりました



R1.10.16 視察研修会 (西明寺)

朽木文化祭 朽木支部

支部長 石田 八重子

朽木文化祭は、毎年、展示の部では、園児、小中の児童・生徒の作品や地域の人達の出品を得て展示し、発表の部では、昨年度から小中の児童、生徒にも出演していただいております。朽木支部と地域が一体となって合同文化祭を開催しています。特に、子ども達の頑張る姿を見たり、すばらしい歌声を聞いたりすることで、皆さんが元気をいただき、多くの方から好評を聞くこともでき盛んに楽しい文化祭になりました。年々、人口は減少し、出演者・クラブ数も減っていくなかで、地域住民が力をあわせて朽木ならではの充実した文化祭を作りあげていくことが、地域の活性化にも繋がっていくように感じています。今後も、文化活動の楽しさや大切さを知っていただき、朽木の良さが伝わっていけばと思います。



R1.11.3 朽木文化祭

新旭文化祭 研修会 ～大庄屋諏訪家屋敷へ 新旭支部

支部長 川邊 研一

新旭町文化祭は46年続く芸術文化の祭典であります。園児・小中学生をはじめ高齢者までの多くの人々に支えられて開催されてきました。作品展示の部におきまして570人出展し、741点の素晴らしい作品を新旭体育館で展示し、期間中1166名の来場者がありました。舞台発表は26プログラム、263人の出演者が日頃の成果を発表されました。また、今年度は湖西中学文化祭から出展・出演依頼を受け、数グループではありましたが展示発表を行い交流することができました。秋の研修会は、守山市の大庄屋諏訪家屋敷を見学しました。屋敷の主屋書院茶室庭園は歴史の重みを感じさせるものでした。その後、県立琵琶湖博物館へ足を運び、リニューアルされた館内を見学しました。何年前に来た方も多く、新しさと懐かしさを楽しみながら会員の親睦を深めることができました。



R1.9.19 視察研修会 (大庄屋諏訪家)